

市指定

所在地：高倉

もくぞうてんじんざぞう

木造天神坐像

全身を一木で彫り出した素木の像である。頭部は冠を被り、巾子に笄を差し、文官（束帯）の姿で表されている。もとは右手に笏を持っていたと見られるが欠失している。当像は平安時代の神像彫刻に比べると写実的な表現が多く見られ、その像容から14世紀から15世紀の制作と見られる。

天神は、天の神の神威と考えられた雷鳴が、平安時代の御霊信仰と結びつき、特に菅原道真の霊に関係づけられ、道真の姿を模した菅天神が造られるようになった。怨霊表現のため、厳しい相好のものが多い。

高蔵寺所在。

